

「働くとは何か」

～働く人の思いや願いを掴み取れ！～

日 時 令和5年10月4日（水） 第5校時

場 所 8年教室

学 級 第8学年1組（32名）2組（31名）3組（31名）

※事業所ごとの混学級

1 単元のデザイン

本単元の目標

働く人々の思いや願いに出会う中で課題を見つけ探究することを通して、自らが社会で働く意義を理解するためには、一人一人が責任を自覚し、お互いに協力し合うことが大切であることに気付き、自分も社会の一員として社会のために進んで行動しようとするができるようにする。

単元観

府中市では、これまで実施していたCSW（キャリア・スタート・ウィーク）を改め、令和4年度から「キャリア体験学習～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～」をスタートさせた。このキャリア体験学習のねらいは、「働くこと」への関心・意欲を高め、学習意欲の向上を図ることである。さらに、仕事の体験をするだけではなく、探究型のキャリア体験学習として事業所の課題を生徒が体験の中で認識し、その課題解決のアイデア等を出し合い事業所の方へ提案するまでをプロセスとし、生徒一人一人の課題発見・解決学習の推進を図る。

そこで、本単元は、地元企業・事業所等を訪問し、「職場体験」をするだけでなく、体験を通して主体的に課題を発見し、その解決策のアイデア等を見出し、自分達なりの答えを導き事業所の方へ提案することまでを通して、探究的な活動を通じた活用力や思考力を育成することをねらいとする。その中で、働く人々の思いや願いに出会い、自らが社会で働く意義を理解するためには、一人一人が責任を自覚し、お互いに協力し合うことが大切であることに気付き、自分も社会の一員として社会のために進んで行動しようとするができるようにする。

本単元を通して、問題を多面的・多角的に考察し解決に向けたアイデアを協働して見出す課題発見解決能力の育成を図る。そして、子どもたちが夢や志の実現に向けて、創造力などを生かして果敢にチャレンジする人材として成長し、「人とのかわり」や「体験活動」を通して、社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成する地域ぐるみのキャリア教育の充実に取り組む。また、働くことを通して世の中とのつながり、グローバルな視点から生涯学習への意欲を高めるとともに未来に向けて社会貢献・地域貢献する手応えを実感できる「キャリア体験学習」を目指し、学校・家庭・地域が連携し推進していく。

児童生徒観

事前の意識調査の結果は以下の通りである。

	内容	肯定的評価
①	総合的な学習の時間では、単元を貫く大きな問いとなる課題が設定されている。	97.6%
②	毎回その時間で達成する課題を意識して学習している。	91.4%
③	課題を解決するために、様々な方法で情報を収集している。	91.4%
④	調べたことなどを、必要に応じて図やグラフ、表などにまとめている。	66.7%
⑤	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係をみつけたり(関係づけ)して、何が分かるかを考えています。	79.1%
⑥	自分たちが取組んでいる様々な活動について、何のためにするのか、その目的について意識できている。	87.6%

生徒は単元を貫く大きな問いを設定できている（調査結果①）。しかし、普段の授業の様子を見ると、個人で課題を発見したり解決策を見出したりする力は不十分であると思われる。合わせて、生徒は毎回その時間で達成する課題を意識できている（調査結果②）が、課題について振り返りを行ったり、次時の学習計画につなげたりすることができていない状況が見られる。

また、目的意識を持って活動に取り組んでいる生徒は多いものの（調査結果⑥）、生徒は活動を行った後に課題の解決が図られたかどうかの「検証」の視点を持っていないことにより、活動をしてそれで終わりといった姿もこれまでの授業の中で見られた。よって、キャリア体験学習の醍醐味である「実践」を踏まえた検証の視点を取り入れた課題解決案を見出すことへの力は、現段階では不十分といえる。

指導観

- 課題の設定では、「理想」と「現実」のズレ(ギャップ)から双方が結びついた解決案を見出すことができるよう、視点を示したりYチャートやベン図などの思考ツールを選択させ活用させたりする。
- 多面的・多角的に他者の提案を比較・分析することを通し、異なる意見を尊重したり意見を述べたりすることで、課題解決が図られたかどうかの「検証」の視点を取り入れることや、実践に向けて目的意識・相手意識・評価意識を持った具体的な提案を行えるようにする。
- 生徒が自身の学習状況を把握し、学習計画を見直していくことができるように、活動の目的や目指す表現の場の設定を明確にし、毎時間授業の課題や目的を明らかにすると同時に、授業終わりに学習が達成できたかどうかの振り返りを行うことで、問題意識をもち主体的に探究学習に取り組めるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本 単 元	<p>① (知識) 社会で働くことを通して、一人一人がその責任や役割を自覚し、責任を果たしていくことが大切であることを理解している。【責任性】</p> <p>② (技能) 課題を解決する方法を見つけるために、持ち帰った情報について様々な視点から効果的に分析している。</p> <p>③ (探究的な学習のよさの理解) 働く人の思いや願いについての知識・技能が身に付くことで、認識が高まったり改まったりしたことは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>① (課題設定) 出会った探究課題をもとに、自分(たち)が解決すべき課題を自らの力で設定し、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>② (情報収集) 調べたい情報について複数の収集方法を知り、その中から適切かつ効率的な方法を使って情報を収集している。</p> <p>③ (整理・分析) 収集した情報を比較・関係づけ、多面的・多角的に整理・分析している。</p> <p>④ (まとめ・表現) 相手意識・目的意識・評価意識をもち、自分の考えに基づき、効果的な方法で分かりやすく表現している。</p>	<p>① (自己理解・他者理解) 他者の意見や異なる意見を尊重し、自己の考えを広げ深め、生活を見直そうとしている。</p> <p>② (主体性・協働性) 自他のよさを生かしながら協力し、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③ (社会参画・将来展望) 学習を振り返り、自分のよさに気づき、学びを実生活の中で夢や希望につなげ、実社会に参画しようとしている。</p>

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
私たちは、地域の人・もの・コトにどのように関わっていけばよいだろう。	自分も社会の一員として社会のために進んで行動するためには、どんなことができるだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分」ってどんな自分？ ・働くって何だろう。 ・働くために必要な力とは何だろう。 ・働いている人々は、どんな思いをもっているのだろう。 ・今後の地域とどう関わり、自己の生き方をどう考えるべきだろう。

4 単元と評価の計画（全60時間）

次（時数）	ねらい・学習活動	評価			
		知	思	態	評価方法
1 働くとは何か？ （15）	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> 働くことについてのイメージマップを書き出し、共有する。 働くうえで大切なこと、仕事をする理由を予想する。 保護者などの働いている人にインタビューして、自分たちの予想と比較し検証する。 【課題】 自分も社会の一員として社会のために進んで行動するためには、どんなことができるだろう。	①	④	②	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 社会人が身に付けておくべきマナーを学ぶために、マナー講座を受講する。 課題発見のやり方演習をする。 各事業所へアポイントメントをとるための文章作成を行う。 各事業所の仕事内容や企業理念、事業所の「理想」を事前に各グループで調査する。 事業所へのアポイントメントをとる。その際、各事業所の代表者にその企業の「理想」や「売り」を聞き出すインタビューを行う。 			①	
2 実際に働いてみよう！（18）	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> 事前インタビューで知った事業所の「理想」を視点に、体験を行う中で触れた人・物・コトから、体験先の事業所の「理想」とは違う「現実」部分の問題を見つける。 (事業所の方へのインタビュー、仕事体験、写真撮影など) 			②	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート
3 事業所の課題を見つけ、解決策を提案しよう （27）	これからの学習の流れを確認する。 （課題発見→解決策を出す→提案する） 課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> キャリア体験学習で得た情報から、事業所の「理想」と「現実」のずれを認識し、事業所ごとの課題を設定する。 グループごとに課題解決策を考えていくための学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 				<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
	情報収集 <ul style="list-style-type: none"> グループに分かれ、事業所の課題解決策を考えるために必要な情報を集める。 (改善策の提案根拠となる資料やデータを、アンケートやインタビューをもとに集める) 整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報について交流し、必要な情報を取捨選択する。 キャリア体験で得た情報と収集した情報を関係づけて、提案する改善策を考案する。 	②	①	②	

本時

<ul style="list-style-type: none"> ・考案した改善策が実現可能なのか、改善策を実施した際の事業所にとってのメリット・デメリットを検討し、改善策の修正をする。 ・改善策の提案根拠となる資料やデータを、アンケートやインタビューのデータをもとにまとめる。 ・グループ相互での中間発表会に向けて準備をする。 		③		
		④	①	
	③	③	③	

5 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

実習を通して見つけた様々な現実とは、どの理想と結びつくのか考えることができる。

(2) 本時の学習展開

主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準、※評価方法										
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査と体験期間中のインタビューで収集した事業所の「理想」と「現実」をロイロノートにまとめたことを確認する。 <p>2 「理想」と「現実」のギャップから「課題」を発見するためにはどのような分析を行えばいいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理想」と「現実」をどのように結び付ければいいのか、例題をもとに考える。 <p>【例題】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">目指しているゴール (事業所の願い・目標)</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">結果・ゴールにどれだけ近づいているか (体験中に気付けたこと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①お客様を笑顔にしたい</td> <td style="text-align: center;">A お客様の笑顔が少ない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②清潔な職場</td> <td style="text-align: center;">B 更衣室が汚い</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">C お客様が怒っている</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">D 店員の声が小さい</td> </tr> </tbody> </table> <p>・この授業のゴールは何だろう。</p> <p>3 本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「理想」と対応する整合性のある「現実」を見つけよう。</p> </div> <p>4 「理想」と対応する整合性のある「現実」を見つけ、ペアを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを用いてカードを動かし、線で結び付けながら関連性を見つけさせる。(個人) ・見つけた関連性をグループで共有し、正しいかどうか検討する。(グループ) ・検討が終了したグループは「理想」と「現実」のギャップから「課題」を探す。 <p>5 本時の学習を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。</p>	目指しているゴール (事業所の願い・目標)	結果・ゴールにどれだけ近づいているか (体験中に気付けたこと)	①お客様を笑顔にしたい	A お客様の笑顔が少ない	②清潔な職場	B 更衣室が汚い		C お客様が怒っている		D 店員の声が小さい	<p>○主体的に学習に取り組むことができるようこれまでの学習状況を児童に把握させる。</p> <p>○本時と次時の2時間で「課題発見」までいくことがゴールであることをおさえる。(本時はその第1時)</p> <p>○「理想」と「現実」の関連性を見つけることで課題の発見に近づけることに気付かせる。</p> <p>○「理想」と「現実」の組み合わせを見つけ、その理由を考えることにより「理想」と「現実」の整合性を見つけることが課題を発見することにつながることに気付かせる。</p> <p>○対応するカードが1対1のみではなく、1対複数や対応しないカードがあることに気付かせる。</p> <p>○検討する時間を生徒に決めさせる。 目安(個人3分)(グループ5分)</p> <p>★収集した情報を比較・関係づけ、多面的・多角的に整理・分析している。 (思考・判断・表現) ※ロイロノート・ワークシート</p> <p>○振り返りの視点を示す。 ①今日の授業で学んだこと。 ②次時にやることは何か。 (課題を見つけ設定するまでを意識させたい)</p>
目指しているゴール (事業所の願い・目標)	結果・ゴールにどれだけ近づいているか (体験中に気付けたこと)										
①お客様を笑顔にしたい	A お客様の笑顔が少ない										
②清潔な職場	B 更衣室が汚い										
	C お客様が怒っている										
	D 店員の声が小さい										

